

柿本朝臣麻呂の妻の歌一首

五〇四番

君が家に 我が住坂の 家道をも 我は忘れじ  
命死なずは

安倍女郎の歌二首

五〇五番

今更に 何をか思はむ うちなびき 心は君に  
寄りにしものを

五〇六番

我が背子は 物な思ひそ 事しあらば 火にも水  
にも 我がなけなけなくに

駿河采女の歌一首

五〇七番

しきたへの 枕ゆくくる 涙にそ 浮き寝をし  
ける 恋の繁きに

三方沙弥の歌一首

五〇八番

衣手の 別る今夜ゆ 妹も我も いたく恋ひむな  
逢ふよしをなみ